

国道477号

四日市湯の山道路、菰野バイパス

要 望 書



工事が進む四日市湯の山道路から新名神高速道路 菰野IC方面を望む

平成30年6月

四日市インターアクセス道路整備促進期成同盟会
四 日 市 商 工 会 議 所

要 望 書

平素は、国道477号四日市湯の山道路の事業促進に格段のご高配とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

四日市湯の山道路を含む四日市インターアクセス道路は、国際拠点港湾である四日市港や四日市市の中心市街地、菰野町を結び、東名阪自動車道や国道1号、23号など三重県北勢地域の幹線道路と一体となり、地域経済を支える道路として、また、住民生活を支える生活関連道路として、さらには湯の山温泉をはじめとする観光、景勝地へのアクセス道路として、地域の活性化を支える重要な道路であります。今年度には重要な物流拠点を結ぶ幹線道路やアクセス道路を指定する「重要物流道路制度」が創設され、国際拠点港湾の四日市港と新名神高速道路を結ぶ四日市インターアクセス道路は、国道1号北勢バイパスや東名阪自動車道等とともに重要物流道路の役割を担うものと考えられます。

しかしながら、現道では沿道開発が進み、交通渋滞が慢性化し、特に観光シーズンには激しい渋滞が発生するなど、住民の日常生活や地域の産業振興に大きな支障をきたしています。

このようななか、整備が進められている新名神高速道路三重県区間については、新四日市ジャンクションから亀山西ジャンクション（仮称）間が平成30年度の供用予定と目前に迫り、菰野インターチェンジ（仮称）へのアクセス道路として必要不可欠な四日市湯の山道路については、これまでの格別のご配慮のおかげで、新名神高速道路の開通に合わせた供用が確實となりました。さらに、菰野インターチェンジ（仮称）隣接地においては、土地区画整理組合による約17万㎡の工業系用地造成計画を具現化し、企業誘致を行うことで、産業発展に大いに期

待できるなど四日市湯の山道路の整備効果が発揮されることとなります。

菰野インターチェンジ（仮称）から工業系用地造成地のアクセス道路として地域産業の生産性向上を支え、湯の山温泉へのアクセス道路として観光シーズンの渋滞緩和に寄与して観光振興を支えるためには、四日市湯の山道路と一体となる菰野バイパスが必要不可欠であるので、特段の配慮を賜りますようお願いいたします。

また、四日市湯の山道路においては、供用後に整備が必要な側道等周辺道路整備について、引き続き、ご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

- 一 地方が真に必要な道路整備を計画的かつ着実に進められるよう必要な道路関係予算を安定的に確保すること。
- 一 重要物流道路制度を契機とした地域高規格道路等のネットワークの見直し及び補助事業による重点整備を図ること。
- 一 四日市湯の山道路と一体となり整備効果を発揮する菰野バイパスの整備に必要な予算を確保すること。
- 一 四日市湯の山道路について側道等周辺道路整備に必要な予算を確保すること。

四日市インターアクセス道路整備促進期成同盟会

会 長 菰野町長 石原 正敬

副会長 四日市市長 森 智広

四日市商工会議所

会 頭

種橋 潤治

生産性革命を後押しする四日市インターアクセス道路 ～四日市湯の山道路、菰野バイパス～

物流の効率化が民需拡大を誘発し、国際競争力が強化されます。

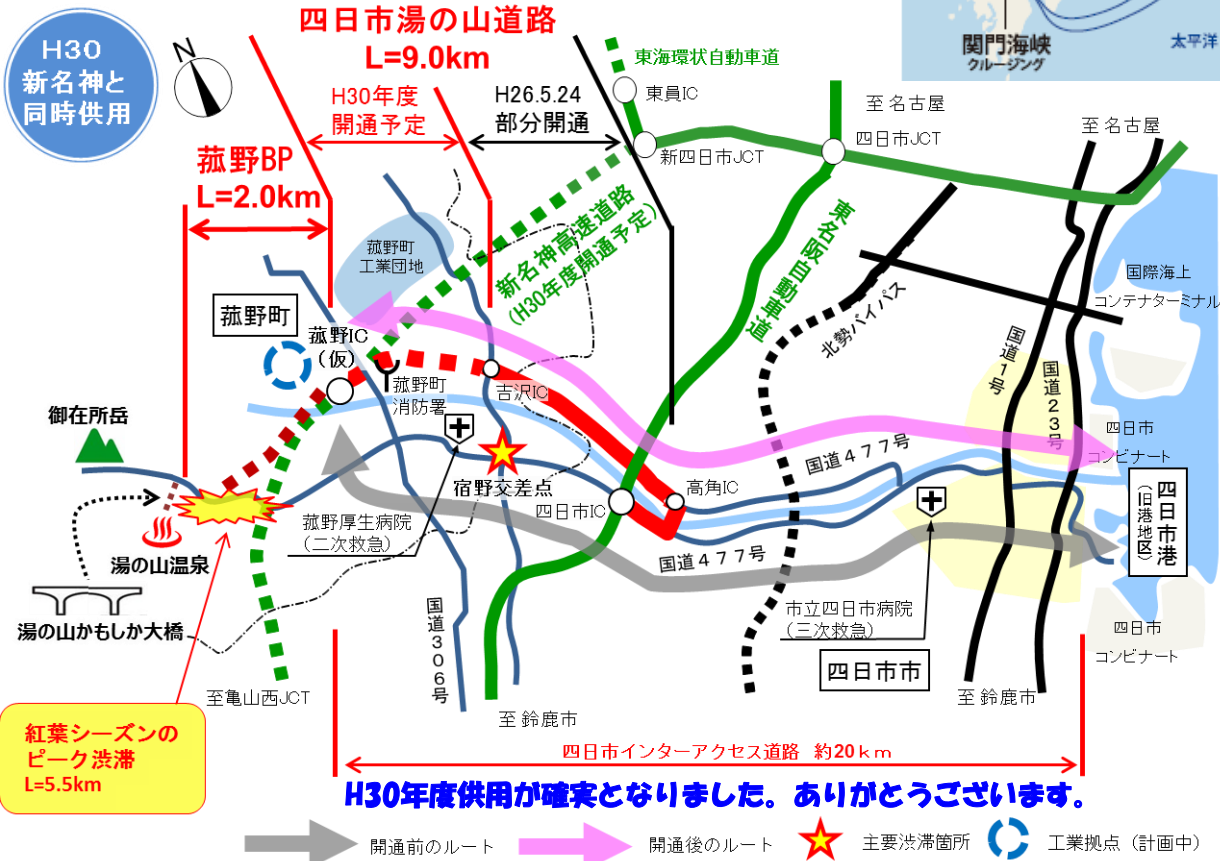
多様な産業が集積する三重県北勢地域

石油化学、高度部材、電子、デバイス、半導体、自動車、自動車関連、電機、機械、食品……

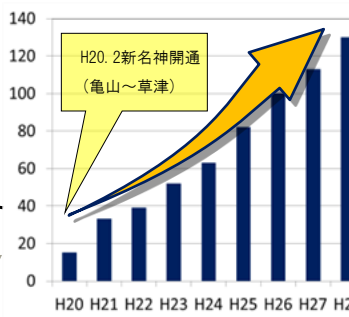
四日市港と四日市市街地、東名阪、新名神を連結し、物流を効率化！

- 民需開発効果の誘発
- 国際競争力強化
- 重要物流道路の役割

菰野IC周辺に工業拠点を計画



北勢地域の工場立地件数の推移



四日市港 新物流施設の整備(平成29年5月竣工)



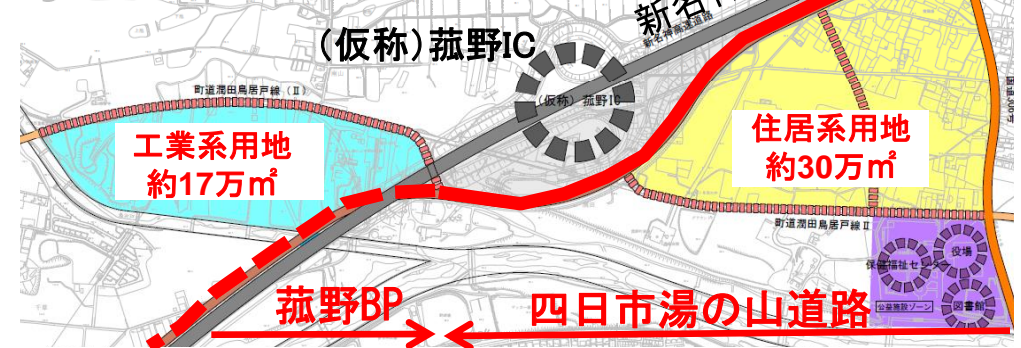
四日市港の整備と合わせクルーズ船誘致

平成30年度外国クルーズ船初寄港(ダイヤモンドプリンセス他6回)



IC周辺に新しい工業系用地を造成し、地域経済の活性化に繋がります。

- 新名神(仮称)菰野IC西側隣接地 約17万㎡の工業系用地
- 事業主体は土地区画整理組合 平成29年7月30日に準備会を設立



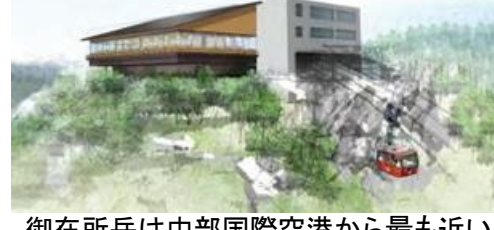
湯の山温泉へのアクセスが向上し、インバウンド拡大が期待されます。

◆“雪山”として大人気の御在所岳

◆平成30年度の開通に向けた官民の取組

改修総投資額 約15億円

山上公園リニューアルイメージ

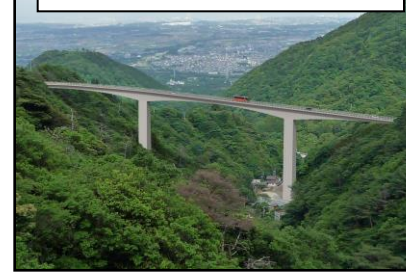


御在所岳は中部国際空港から最も近い“雪山”として外国人観光客に人気です。

- 御在所岳山上公園のリニューアルオープン(H30.7予定)(新型ゴンドラの導入、レストランの新設)
- 山麓駅舎(エレベータ設置、登山用品店の出店)
- 御在所ロープウェイの駐車場整備
- 湯の山温泉開湯1300年の記念事業(温泉博覧会)
- 鈴鹿国立公園指定50周年
- 新たなアクセスルート(湯の山大橋)の完成
- 外国人観光客への支援
 - 宿泊施設の指認証「ゆびクーポン」の登録
 - Wifi、多言語案内板の整備、インバウンド研修会の開催

◆アクセス向上による観光産業の活性化

湯の山かもしか大橋完成予想図



湯の山温泉街へのアクセスとしてのダブルネットワークを構築する湯の山かもしか大橋は平成30年度開通予定。温泉街への迂回路のない県道と国道を繋ぎ、渋滞の緩和、利便性の向上、災害時の安全性を確保する効果が見込まれる。四日市湯の山道路、菰野バイパスの整備とともに、温泉街へのアクセスとしての湯の山かもしか大橋の開通は、未来の地域・観光振興の道筋になる。

紅葉シーズンの渋滞の緩和が期待されます。



湯の山方面の渋滞



四日市方面の渋滞

紅葉シーズンには現道の国道では5.5kmの渋滞が発生しており、観光客だけでなく生活道路として利用している地元住民の生活にも支障を来している。四日市湯の山道路、菰野バイパス、湯の山かもしか大橋の完成による渋滞緩和が大いに期待されている。